

平成30年1月8日に行われた成人式での市長のあいさつです。

皆さん、こんにちは。

本日ここに平成30年長久手市成人式を挙行するにあたり、一言、ごあいさつを申し上げます。

新成人の皆さん、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。ご家族の皆さん、おめでとうございます。

また、市議会議長 加藤和男様をはじめ、ご来賓の皆様には、ご多忙の折、ご臨席を賜り、ありがとうございます。

今から4つ、話をさせていただきます。一緒に考えてくれませんか？



人口減少は他人事でしょうか？

さて、皆さんは、日本の人口が、今、何人くらいか、ご存知ですか？

1億2,700万人です。

日本の人口は、2010年頃をピークに、そこから既に100万人減っています。皆さんが50歳になる頃の2050年頃には、1億人を切って9,000万人台、70歳の頃には8,000万人台になります。人口がこれほどの勢いで減っていく社会は、世界で初めてであり、誰も経験をしたことがなく、どう対応していくのが正解なのか、実は誰にも分かりません。

「長久手は、日本一若いまちだし、人口も増えている。そんなことは、関係ないんじゃない？」と思う人もいるかもしれません。

日本には、約1,700の自治体がありますが、その中で人口が増えているのは、たった300。全体のわずか17%です。

長久手で暮らしていると、日本全国が悩んでいる超高齢化、人口減少の問題は、どうしても他人事になりがちです。ぜひ、全国各地へ旅行に行かれた際は、「人口が減るとはどういうことなのか」という視点も持って、行ってもらえたらと思います。そして、長久手にも必ず訪れる超高齢・人口減少社会を想像してもらい、今から自分達ができることは何だろうかと考えてもらえたらと思います。

全く新しい社会に変わる

2つ目ですが、これまでの正解が、正解とは限らない、全く新しい社会になると思っています。実は、今年の成人式の際にも、人口減少のお話をしました。すると、「おめでたい席で、人口が減るとい暗い話はふさわしくないのでは？」という感想をいただきました。

人口が減っていく社会は、あなた達が50歳になる、70歳になる時代は、私は明るい、新しい時代になると思っています。

人口が減っていく社会に合わせて、経済や社会の有り様も全部変わっていきます。悲観するばかりでなく、どのように変わっていけば、今よりも暮らしやすい世の中になるのか、良い生き方ができるのか、みんなで考え、行動することができます。

これまでの時代は、数字で表せること、正解のあることが、評価の対象でした。これからの時代は、数字で表せることや正解のあることは、人口知能（AI）が答えてくれます。人間を評価する価値観が大きく変わるはずで、学校の成績がいいとか、たくさん稼いだとかでない、全く新しい時代が来るんです。

今、10歳の子ども達は、その半数が、107歳まで生きると言われています。皆さんも、人生100年の時代を生きていくことになります。「60歳で定年して…」、という生き方から、80歳から新たなことにチャレンジができるような時代になるはずで、

生産性や効率性が高いことが一番だという価値観から、いろいろな人がいて良いという多様性を認める価値観に変わっていくはずで、

人口が減っていく社会、人生100年の時代は、今とは全く異なる社会です。ゆったりとした大らかな空気の中で、多様な選択や価値観を互いに認めることができる、素晴らしい社会になるだろうと、私は思っています。

「戻って来たい」と思うふるさと

皆さんの中には、既に、進学や就職、結婚で長久手を離れていて、成人式のために久しぶりに戻って来たという方もいらっしゃるかもしれません。

「また戻って来たい！」と思う“ふるさと”とは、どんなまちでしょうか。

「戻って来たい」と思う“ふるさと”は、「つながり」と「みどり」があるところだと私は思います。「あら、お帰り」と、声を掛けてくれるご近所さんがいる。胸が高鳴るお祭りがある。心安らぐ「みどり」がある。

今、皆さんは、ご近所とあいさつをしたり、地域の活動に参加したりすることは、面倒だと思っているかもしれません。桜はきれいと思っても、その後の毛虫はイヤだと感

じたり、紅葉は美しいと思っても、落ち葉はゴミだと思ったりしていませんか？

毛虫や落ち葉といった「わずらわしいこと」も受け入れ、今は面倒だと思っても、ご近所であいさつしたり、地域のために何かをしたりすることが当たり前で長久手に変えていく努力を、今から重ねていけば、皆さんが40歳、50歳になった頃には、ご近所がつながり、当たり前で支え合う、もっと住みやすい、長久手に変わっているはずですよ。



私達が、今すぐできること

そこで、みなさんにお願ひがあります。

家族同士、そしてご近所で、ぜひ、「おはよう」「こんにちは」「いい天気ね」とあいさつ、声掛けをしてください。

長久手市は、この50年間で5万人も増えました。約7割の人が、新たに引っ越してきた人達です。互いによく知らない方が、わずらわしくなくて、快適に暮らせると思っている人もいるかもしれません。

いろいろな困り事の8割は、人々が交流することで解決できると言われています。

交流の第一歩は、ニッコリと笑ってあいさつです。そうやってお互いが知り合い、つながりがある「ふるさと 長久手」にしていきたいと思っています。

あいさつは、恥ずかしいし、面倒だと思ふ人もいるかもしれませんが、あいさつができる力、あいさつから始まった人間関係は、皆さんのこれからの人生において、必ず大きな財産になるはずですよ。

スマートフォンの画面を見るばかりでなく、人に会ったり、美しい風景を見たりして、感性を磨いて欲しいと思います。人と出会い、交流することは、面倒で、わずらわしいことですが、それが、これからの人生を歩むうえで大切なことだと思います。

最後に、新成人の皆さんが、持てる力を存分に発揮し、それぞれの舞台で活躍される輝かしい未来に、幸多きことを心より祈念して、お祝いの言葉といたします。